2026（R8）年 10 月町長メッセージ

「農業の未来は、次のむかわ町の未来」

〇実りの秋を迎え、町内では今年もさまざまな農産物が収穫の時期を迎えています。

〇春の種まきから夏の暑さの中での管理、そして収穫まで、生産者の皆さまが日々、大切に育ててこられた農産物が実りを迎えるこの季節は、改めて、むかわ町が豊かな農業のまちであることを実感する時でもあります。

〇今年もブロッコリーやほべつメロンをはじめ、米・野菜など、多くの農産物が実りました。令和８年産の両地区で初出荷された米が全量一等米となり、生産者の皆さまが品質向上に取り組んでこられた成果が表れています。

　また、畜産分野に目を向けると、肉牛の市場価格は好調に推移しており、畜産農家の皆さまにとって明るい材料となっています。

〇こうした日々の努力に、改めて敬意と感謝を申し上げます。農業は、むかわ町の地域経済と暮らしを支える基幹産業です。しかし、その農業を取り巻く環境は大きく変化しています。

〇担い手の減少や高齢化、農業資材や燃料価格の高騰、気候変動への対応など、現場ではさまざまな課題に直面しています。また、国においても米政策をはじめ、これからの農業をどう持続可能なものにしていくのか、大きな転換期を迎えています。

〇だからこそ、私は何よりも「現場」を大切にしたいと考えています。農業政策は、制度をつくること自体が目的ではありません。実際に農業を営む皆さまが将来を見通し、希望を持って営農を続けられること。そして、次の世代が「農業をやってみたい」と思える環境をつくることが重要です。

〇私が今考えているのは、「今年の収穫」だけではなく、10 年後、20 年後にも、むかわ町の大地で農業が営まれている姿をどうつくるかということです。

〇そのためには、担い手の確保・育成や労働力の確保、スマート農業による省力化、農業基盤の整備、農産物の高付加価値化など、さまざまな取組を組み合わせていく必要があります。

〇そして、農業を「守るべき産業」としてだけではなく、これからも成長できる産業として捉えていきたいと考えています。

〇「良いものをつくる」ことに加え、その価値をしっかりと伝え、「むかわ町の農産物だから選びたい」と思っていただくことも大切です。

〇ふるさと納税やタウンプロモーションなども活用しながら、町内外への発信を強化し、生産者の所得向上と地域経済の活性化につなげていくと同時に、地域でつくられたものを地域で大切にする視点も必要です。

〇学校給食などを通じて子どもたちが地元の農産物に触れ、自分たちが暮らす町で、誰が、どのような思いで食べ物をつくっているのかを知る。それは食育だけでなく、ふるさとへの愛着や誇りを育むことにもつながります。そして、町民の皆さまにお伝えしたいのは、農業振興は、農業者だけのための政策ではないということです。

〇農業は私たちの食を支え、農地や農村景観を守り、地域の雇用を生み、商工業や物流など、さまざまな産業にもつながっています。だからこそ、農業の持続可能性を高めることは、むかわ町全体の活力を高めることにつながります。

〇今年の実りに感謝するとともに、生産者の皆さまの声に耳を傾け、農業関係団体をはじめ多くの皆さまと知恵を出し合いながら、新しい技術や発想も積極的に取り入れ、次の世代につながる農業をつくってまいります。

〇農業の未来は、むかわ町の未来です。その未来に向けて、皆さまとともに、一歩ずつ前へ進んでまいります。

〇引き続き、町政へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
　なお今後は、漁業、林業等にもふれていきたいと考えております。